第6講 【系統地理編】農林水産業，食料問題
PART 5 林業・水産業

Chapter 1　世界と日本の林業

目標
用材と薪炭材の違いを理解しよう。
熱帯林と亜寒帯林の利用の傾向を知ろう。

1 森林の役割

・**森林**は私たちの生活や環境において，大きな役割を有する。
　→**光合成**により二酸化炭素を吸収し，酸素を供給する。
　→水を蓄えることにより**洪水**を防ぎ，深く根を張ることで**土砂崩れ**を防ぐ。
　→多くの**生物**が暮らす場所となる。
　→**用材**や**薪炭材**など，人間の生活に有用な資源を与える。
・［　　　　］：**建築材料**やパルプ・紙の原料など。工業化が進み，生活水準の高い**先進国**で需要が多い。
・［　　　　　　］：燃料として用いられる。ガスや電気などのインフラ整備が遅れる**発展途上国**で需要が多い。

2 世界の林業

・［　　　　　　］や寒帯は無樹木気候であり，**熱帯・温帯・亜寒帯**の樹木気候に森林が広がる。

1. 熱帯林での林業
・主に**常緑広葉樹**からなり，樹種が豊富である。
・［　　　　　　］に利用されることが多いが，**ラワン**は合板に加工され，**チーク**のような高級材も見られる。
・樹種が豊富で，特定の樹種のみを取り出すことが難しく，**皆伐**される傾向がある。**東南アジア**や**南アメリカ**における過剰な伐採により，森林の縮小が進んでいる。

熱帯林での林業

2. 温帯林での林業

・主に**落葉広葉樹**と針葉樹の混合林。

・古くから人々の生活の場であり，**薪炭材**としての利用や**農地**を拓くため伐採が進んだ。

・ヨーロッパなどでは消費地に近い地域で自然林は減少し，現在は多くが植林による**人工林**となっている。

温帯林での林業

3. 亜寒帯林での林業

・モミ，マツなどの針葉樹の**純林**である〔　　　　　　　〕が多い。

・純林であるため効率的に伐採しやすく，**商業林**として価値が高い。

・軟材で加工しやすく，**パルプ・紙**の原料となる。

・伐採が進む一部の地域では，永久凍土の融解の問題も生じている。

亜寒帯林での林業

3　日本の林業

・日本は約**７割**が森林であり，植林による人工林も多く見られる。

・高度経済成長期に安い外国産の木材が流入したことにより自給率が低下し，新たな担い手が減少したため**高齢化**が進んだ。

・2000 年代には，政府による**「緑の雇用」政策**や大企業の事業参入で，就業者数・自給率が向上した。

まとめ

用材は加工して産業に用いられる木材，薪炭材は燃料用の木材。
熱帯林は薪炭材や合板などに加工され，亜寒帯林はパルプや紙の原料となる。

Chapter 2　世界と日本の水産業

目標
太平洋南東部が好漁場となる理由を理解しよう。
1970 年代以降，日本の遠洋漁業が衰退した理由を理解しよう。

1　世界の漁場

・〔　　　　　　〕や浅堆（**バンク**），**寒流**が流れる海域，〔　　　　　〕が形成される海域は，**湧昇流**が発生し，**プランクトン**が豊富な漁場となりやすい。
・**沿岸部**は河川からの有機物の流入で，栄養分の多い海域となる。
・漁獲量最大の国は〔　　　　〕で，河川や湖での内水面養殖業が発達。
・ヨーロッパでは〔　　　　　　　　　　〕で輸出が多く，**スペイン**などで輸入が多い。
・東南アジアの〔　　　　　　　　〕や**インドネシア**も，**エビ**の養殖などを行い輸出が多い。

＜世界の主な漁場＞

漁場	沿岸国	特徴
太平洋北西部	**日本・中国**	・太平洋の寒流や潮目，東シナ海の大陸棚などに恵まれる。 ・中国の漁獲量の伸びが大きい。
大西洋北東部	**イギリス・ノルウェー**	・大陸棚の広がる北海は好漁場。 ・ニシンやタラの漁獲。
太平洋南東部	**ペルー・チリ**	・沿岸を寒流が流れ，湧昇流が発達。 ・飼料用に用いられる〔　　　　　　　　　　〕の漁獲。

中国の内水面養殖業

ペルーのアンチョビー漁

2 日本の漁業

1. 遠洋漁業や沖合漁業の落ち込み

1970年以前	・日本の漁業は世界最大規模で，特に**遠洋漁業**は世界各地で操業していた。
1970年代～ 1990年代	・〔　　　　　　　　　　　　〕による燃料費の高騰。 ・〔　　　　　　　　　　　　〕（EEZ）の設定。 →他国の沿岸での操業が制限され，日本の遠洋漁業が衰退。次いで沖合漁業も急激な落ち込み。
現在	・漁業就業者の減少や〔　　　　　　〕だけでなく，外国からの安い水産物の輸入などにより，漁獲量全体が落ち込んでいる。

2. 現在の日本の漁業

・「育てる漁業」である〔　　　　　〕や〔　　　　　　　　　〕の漁獲量が増えている。

・日本は世界有数の水産物輸入国であり，主にインドやインドネシア，〔　　　　　　　　　〕からエビを，台湾から**マグロ**を，チリからサケなどを輸入している。

・これらの輸出国では，養殖池の拡大に伴う森林の破壊や，乱獲による天然資源の枯渇など，さまざまな環境問題も起こっている。

輸入されたマグロ

まとめ
巨大な寒流のペルー海流が流れ，湧昇流により栄養分が豊かな海域となる。
燃料費の高騰や排他的経済水域の設定など。

第6講 PART5 確認問題

1 森林の役割について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 多くの生物が暮らす場所となる。
② 水を蓄えることにより洪水を防ぐ。
③ 深く根を張ることで土砂崩れを防ぐ。
④ 光合成により酸素を吸収する。

2 世界の森林について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 乾燥帯と寒帯は無樹木気候である。
② 熱帯林は薪炭材に利用されることが多い。
③ 熱帯林の中でも安価なチークは合板に加工される。
④ 現在，温帯林の多くは人工林となっている。

3 モミ・マツなどの純林を形成する針葉樹林の名称はどれか。

① タイガ　② ツンドラ
③ ポドゾル　④ ラワン

4 日本の林業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 日本の国土の約７割が森林であり，植林による人工林も見られる。
② 高度経済成長期には第二次世界大戦前に植林した木材が成長し，自給率が高まった。
③ 一時若者の林業離れが深刻だったが，現在はやや改善傾向が見られる。
④ 2000年代に大企業の事業参入などで，木材の自給率が向上した。

5 漁獲量最大の国はどこか。

① アメリカ合衆国　② インド
③ 中国　④ ロシア

6 ニシンやタラの漁獲で知られる北欧の国はどこか。

① フィンランド　② デンマーク
③ ノルウェー　④ フランス

7 日本の漁業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 遠洋漁業の操業などにより，かつて世界最大級の漁獲量を誇っていた。
② オイルショックによる燃料費の高騰などで，遠洋漁業は衰退した。
③ 現在では，漁業就業者の減少という問題を抱えている。
④ 現在では，養殖業や栽培漁業が広く行われており，漁獲量全体は増えている。

8 日本のエビの最大の輸入先はどこか。

① オーストラリア　② 中国
③ チリ　④ インド

第 6 講　PART5　確認問題 解答

1 解答：④　森林が光合成により吸収するのは酸素ではなく，**二酸化炭素**である。そのため森林の過度の伐採は地球温暖化の一因となっている。

2 解答：③　熱帯林の中では**チーク**は高級材であり，合板に加工される主な木材は**ラワン**である。

3 解答：①　モミ・マツなどの純林を形成する針葉樹林の名称は**タイガ**である。タイガは純林であることから，伐採の際に選別が容易という利点がある。

4 解答：②　高度経済成長期に**安い外国産の木材が流入**したことにより木材の**自給率が下がった**。高度経済成長期当時は，フィリピン，インドネシア，マレーシアといった東南アジア諸国からの輸入が多かった。

5 解答：③　**漁獲量最大の国は中国**である（2019 年）。中国では，河川や湖での内水面養殖業も盛んである。

6 解答：③　フィヨルドが発達する**ノルウェー**は好漁場が多く，北海その他でニシンやタラなどを漁獲している。

7 解答：④　日本では現在養殖業や栽培漁業が見られるが，漁業就業者の減少や高齢化，海外からの安価な水産物の輸入などにより，漁獲量は全体として**落ち込んでいる**。

8 解答：④　日本は，**インド**，**ベトナム**，インドネシアから多くエビを輸入している（2020 年）。特に東南アジアでは，マングローブ林を伐採してエビの養殖池に転じた場合が多く見られる。